

第117期

業務報告書

令和6年度

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日



錦川清流線

●ごあいさつ



経営理念

私たちは地域と共に歩み
質の高い金融サービスをお届けし
お客様の豊かな暮らしと
地域社会の発展に貢献します

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご愛顧を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

ここに、第117期の事業の概況と決算につきましてご報告いたします。

わが国経済は、コロナ禍の収束に伴い、緩やかに回復しているものの、物価の上昇は続き、緊迫する国際情勢や米国の関税政策などによる不確実性の高い海外経済動向も相まって、先行きは不透明な状況に置かれています。また、金融環境は、日本銀行の金融政策の見直しにより、「金利ある世界」そして「金利が上がる世界」へと大きく転換しています。

地域経済においても、先行きは不透明な状況にあり、コロナ融資の返済が本格化するなか、原材料価格の高騰、賃上げに伴うコスト上昇分の価格転嫁の遅れや人手不足の影響が経営を圧迫するなど、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

地域で最も身近な金融機関である信用金庫においては、地域が抱える課題の解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していくことが求められています。

このような経済・金融環境のもと、令和6年度は、「地域社会・顧客の発展に繋がる支援力・営業力・組織力の強化」、「金庫組織体制・営業態勢の強化」、「職員人材力の強化」、「業界総合力の発揮」を重点戦略として、金融仲介機能を強化し、適切な業務運営及び経営効率の向上に取り組んでまいりました。また、資産の健全化を目的とした不良債権処理、リスクを考慮した効率的な余資運用を実施いたしました。

こうした結果、当期はこの報告書に記載いたしましたおりの業績を収めることができました。

これもひとえに、会員各位をはじめとするお取引先の皆さま方の温かいご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年度は、経営3か年計画の中間年度として、成長・発展に向けた変化への挑戦に引き続き取り組んでいく重要な事業年度と位置付けています。安定した収益力と将来に亘る健全性の確保に向けて、ガバナンスの強化、生産性の向上、収益基盤の一段の底上げ、営業体制の強化を図り、信用金庫の強みである「Face to Face」による心の通った活動を行うことで、お客さまに喜んでいただける営業活動を実践して地域の皆さま方の期待に応え、地域シェアの向上、強固な営業基盤の確立に取り組んでまいります。また、お取引先企業の資金繰りを確りと支えるとともに、伴走型の本業支援に地道に取り組む、経営力強化支援、創業支援、円滑な事業承継支援など、あらゆる事業フェーズにあるお取引先企業への支援の拡大に努めてまいります。

引き続き厳しい経営環境が予測されますが、“にしん”は、役職員が共通の認識のもと、全員の総合力で各種課題の解決に取り組む、地域の活性化、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

理事長 池上 弘

● 事業の概況

1. 事業方針

本年度は、経営3か年計画「にししんチャレンジ2024」の初年度として、「地域社会・顧客の発展に繋がる支援力・営業力・組織力の強化」、「金庫組織体制・営業態勢の強化」、「職員人材力の強化」、「業界総合力の発揮」を重点戦略とし、地域やお客さまの支援に全力で取り組むとともに、効率的な組織運営、経費の削減、営業基盤の強化を通じた貸出金利息収入、役務取引等収益の確保などにより、生産性の向上、収益力の一段の増強に取り組んでまいりました。また、職員の意識・行動面での変化、更なる活力の発揮を喚起して、地域やお客さまに貢献する存在であり続けることで、持続可能なビジネスモデルの構築を目指してまいりました。

2. 金融経済環境

わが国経済は、コロナ禍の収束に伴い、緩やかに回復しているものの、物価の上昇は続き、緊迫する国際情勢や米国の新大統領の誕生などによる不確実性の高い海外経済動向も相まって、先行きは不透明な状況に置かれています。また、金融環境は、日本銀行の金融政策の見直しにより、「金利ある世界」そして「金利が上がる世界」へと大きく転換しています。地域経済においては、コロナ融資の返済が本格化するなか、原材料価格の高騰、賃上げに伴うコスト上昇分の価格転嫁の遅れや人手不足の影響が経営を圧迫するなど、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

このような経済環境のもと、地域で最も身近な金融機関である信用金庫においては、地域が抱える課題の解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していくことが求められています。

3. 業績

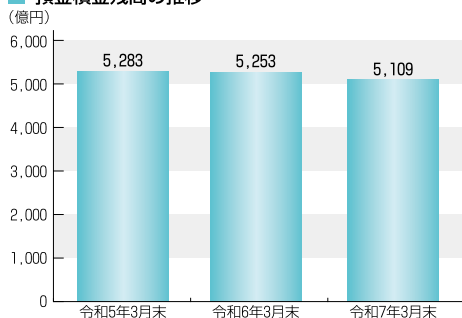
このような環境のなか、収益性の改善に向け、経費の削減、営業体制の強化による生産性の向上に取り組んでまいりました。

当期の業績は、会員の皆さまをはじめ、お取引先の皆さまのご支援のもと全役職員が重点戦略に沿って業務を推進してまいりました結果、以下のとおりとなりました。

(預金積金)

定期預金の取り崩しや預金から預かり資産へのシフトなどによる個人預金の減少等により、期中144億円減少して期末残高は、5,109億円となりました。

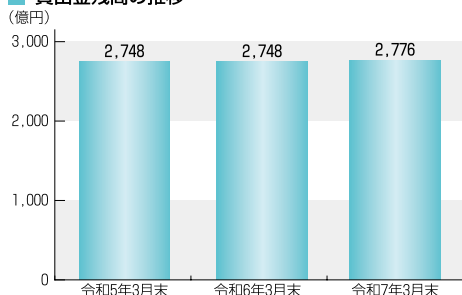
■ 預金積金残高の推移



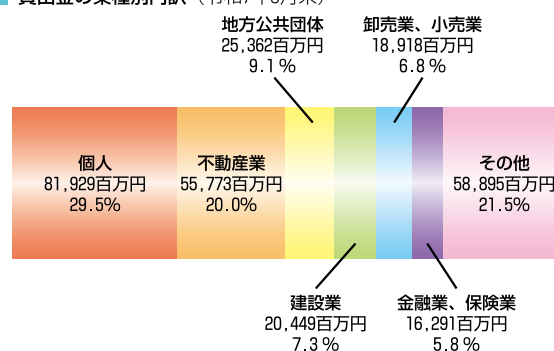
(貸出金)

事業者向け、個人向けともに積極的に推進したことから、期中27億円増加して期末残高は、2,776億円となりました。

■ 貸出金残高の推移



■ 貸出金の業種別内訳 (令和7年3月末)



(有価証券)

金利上昇に伴い、債券の購入を抑制して預け金にシフトしたことなどにより、期中 75 億円減少して期末残高は、1,466 億円となりました。

(外国為替取扱高)

輸出為替取扱額の減少により、前期比 3 百万ドル減少して 8 百万ドルとなりました。

(貸倒引当金)

資産の健全化を図るため、将来発生の予測される貸倒損失に備えた貸倒引当金を計上しています。

個別貸倒引当金は、2 億 67 百万円の積み増しを行いました。貸出金の償却等に伴い引当金を取り崩した結果、期中 7 百万円増加して期末残高は、28 億 75 百万円となりました。また、一般貸倒引当金は期中 71 百万円減少して期末残高は、5 億 85 百万円となりました。

(損 益)

業務純益は一般貸倒引当金戻入額の減少などにより、前期比 2 億 53 百万円減少して 7 億 19 百万円となりました。

経常利益は、業務純益の減少を主因に、前期比 44 百万円減少して 3 億 2 百万円となりました。

当期純利益は、前期比 42 百万円減少して 1 億 83 百万円となりました。

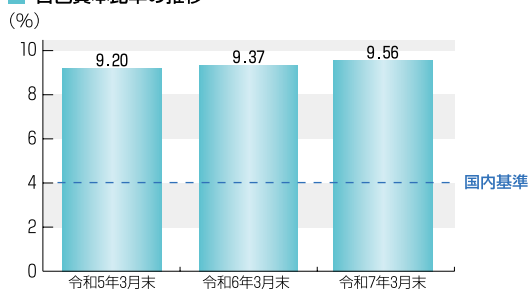
(会員勘定)

当期中の会員は、1,374 名減少して 54,020 名となり、出資金の期末残高は、26 億 47 百万円となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、前年度比 0.19 ポイント上昇して 9.56%となり、国内基準の 4%を大きく上回っています。

■ 自己資本比率の推移



■ 自己資本比率

	(単位:百万円)		
	令和5年3月末	令和6年3月末	令和7年3月末
自己資本額(A)	20,150	20,111	20,193
リスクアセット等(資産等)(B)	218,954	214,459	211,151
自己資本比率(A/B)	9.20%	9.37%	9.56%

[参考]自己資本比率とは、金融機関の健全性を示す重要な指標で、当金庫の9.56%という比率は国内基準4%を大きく上回る水準にあり、当金庫の財務体質の健全性を示しています。

5. 不良債権の状況

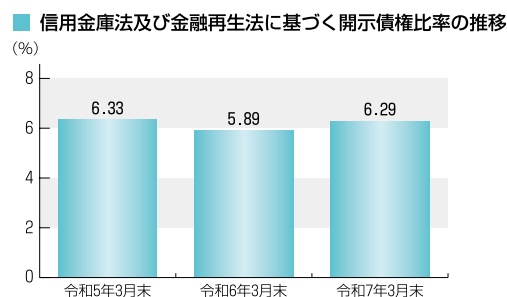
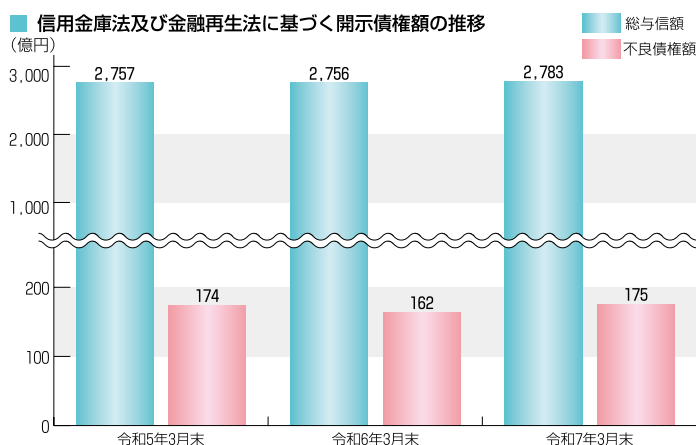
貸出金の償却を行った結果、信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は 175 億円となりました。なお、貸出金等の総与信に対する不良債権額の割合は、6.29%となっています。

■ 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

開示区分	令和6年3月末	令和7年3月末
信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権(A)	16,248	17,523
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,451	4,567
危険債権	9,759	11,190
要管理債権	2,036	1,766
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	2,036	1,766
正常債権	259,360	260,789
保全額(B)	14,744	15,650
担保・保証等	11,571	12,564
貸倒引当金	3,172	3,085
保全率(B/A)	90.74%	89.31%

(注)総与信～貸出金・債務保証見返・仮払金・未収利息・外国為替

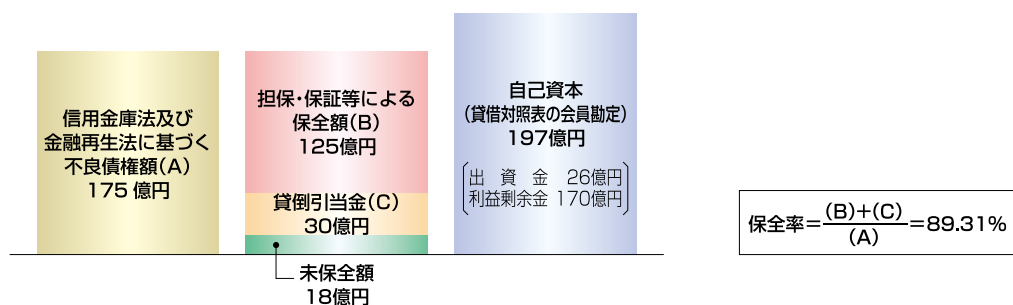


6. 不良債権に対する備え

信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は175億円(A)ですが、この金額全てが損失となるわけではありません。

担保・保証等及び貸倒引当金で156億円(B+C)が保全されており、保全率は89.31%と高水準となっています。未保全額は18億円となりますが、これに対して自己資本等は197億円あり不良債権に対する備えは万全です。

■ 信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権と特別積立金等の備えについて



7. 事業の展望

役職員が共通の認識のもと、全員の総合力で各種課題の解決に取り組み、地域の活性化、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

8. 当金庫が対処すべき課題

令和7年度は、経営3か年計画の中間年度として、最終年度の計画達成に向けた組織体制、営業態勢を固める重要な事業年度と位置付け、地域・取引先・職員の成長、幸せのために行動するとともに、組織が一体となってKPI (Key Performance Indicator 重要業績評価指標) の達成に向けて下記の基本方針の推進に取り組みます。

- ・ 預金、貸出金の増強 (取引先数、取引量の拡大)
- ・ 預貸金利鞘の拡大 (貸出金利回りの引上げ)
- ・ 信用コストの抑制 (与信先管理の徹底)
- ・ 生産性、効率性の改善 (業務の効率化)
- ・ 人材の育成 (一人ひとりの成長)

業務運営にあたっては、重点施策「地域社会・顧客の発展に繋がる支援力・営業力・組織力の強化」、「金庫組織体制・営業態勢の強化」、「職員人材力の強化」、「業界総合力の発揮」の下に掲げた具体的施策を確実に実践し、お客さまの支援に全力で取り組むとともに、生産性の向上、収益力の一段の増強に取り組みます。また、職員の意識・行動面での変化、更なる活力の発揮を喚起して、地域やお客さまに貢献する存在であり続けることで、持続可能なビジネスモデルの構築を目指してまいります。

● 庶務の概況

1. 通常総代会

* 令和6年6月24日第116回通常総代会を開催し、下記議案が承認可決されました。

【報告事項】

- 1、第116期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告
- 2、第116期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
決算に係る監事監査結果報告

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 店舗の廃止に伴う定款一部改正の件
- 第3号議案 店舗の出張所化に伴う定款一部改正の件
- 第4号議案 所在不明会員除名の件
- 第5号議案 理事1名選任の件
- 第6号議案 会計監査人選任の件
- 第7号議案 総代候補者選考委員18名選任の件
- 第8号議案 退任理事に対する役員退職慰労金贈呈の件

2. 登記事項

- 令和6年4月1日 出資の総口数(5,303,998口)及び出資総額(2,651,999,000円)の変更登記をいたしました。
- 令和6年4月4日 電子公告を行うホームページアドレスの変更登記をいたしました。
- 令和6年6月27日 代表理事の変更登記をいたしました。
- 令和6年10月15日 店舗廃止に伴う、西山出張所、安岡支店、長府支店、シーモール出張所、宇部新川支店、厚南支店、玖珂支店の廃止登記をいたしました。

3. その他のおもな事項

- 令和6年10月13日 店外ATM「シーモール出張所」を移転いたしました。同時に、稼働時間を10時～20時へ変更いたしました。
- 令和6年10月15日 シーモール出張所及び店舗内店舗として営業しておりました西山出張所、安岡支店、長府支店、宇部新川支店、厚南支店、玖珂支店を、各々、本店営業部、福浦支店、かじくり支店、長府中央支店、宇部支店、西宇部支店、岩国支店へ統合いたしました。
- 令和6年10月15日 本村支店を本村出張所へ移行いたしました。
- 令和7年1月14日 唐戸支店の窓口営業時間を9時～11時30分、12時30分～15時へ変更（11時30分～12時30分までの間を昼休みとして窓口業務を休止）いたしました。
- 令和7年2月25日 店外ATM「秋芳出張所」を移転し、名称を「秋芳総合支所出張所」へ変更いたしました。
- 令和7年3月24日 徳佐出張所の窓口営業日を月曜日・水曜日・金曜日、日原出張所の窓口営業日を火曜日・木曜日へ変更いたしました。同時に、日原出張所ATMの土曜日・日曜日・祝日の稼働を開始し、稼働時間を8時45分～19時へ変更いたしました。

● 貸借対照表

第117期（令和7年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
現 金	7,362	預 金 積 金	510,962
預 け 金	77,211	当 座 預 金	15,252
買 入 金 銭 債 権	5,449	普 通 預 金	289,714
金 銭 の 信 託	0	貯 蓄 預 金	18,452
有 価 証 券	146,636	通 知 預 金	341
国 債	28,553	定 期 預 金	175,733
地 方 債	17,387	定 期 積 金	6,611
社 債	58,147	そ の 他 の 預 金	4,855
株 式	224	借 用 金	427
そ の 他 の 証 券	42,323	借 入 金	427
貸 出 金	277,628	そ の 他 負 債	1,662
割 引 手 形	506	未 決 済 為 替 借	95
手 形 貸 付	15,910	未 払 費 用	523
証 書 貸 付	247,787	給 付 補 填 備 金	0
当 座 貸 越	13,424	未 払 法 人 税 等	8
外 国 為 替	42	前 受 収 益	172
外 国 他 店 預 け	42	払 戻 未 済 金	5
そ の 他 資 産	4,993	払 戻 未 済 持 分	13
未 決 済 為 替 貸	165	金 融 派 生 商 品	22
信 金 中 金 出 資 金	3,550	リ ー ス 債 務	387
未 収 収 益	541	資 産 除 去 債 務	214
そ の 他 の 資 産	736	そ の 他 の 負 債	219
有 形 固 定 資 産	6,578	退 職 給 付 引 当 金	426
建 物	2,025	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	122
土 地	3,519	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	2
リ ー ス 資 産	348	偶 発 損 失 引 当 金	63
建 設 仮 勘 定	5	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	102
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	679	債 務 保 証	523
無 形 固 定 資 産	72	負 債 の 部 合 計	514,292
ソ フ ト ウ ェ ア	43	（ 純 資 産 の 部 ）	
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	29	出 資 金	2,647
債 務 保 証 見 返	523	普 通 出 資 金	2,647
貸 倒 引 当 金	△ 3,460	利 益 剰 余 金	17,053
（うち個別貸倒引当金）	（△2,875）	利 益 準 備 金	2,543
		そ の 他 利 益 剰 余 金	14,509
		特 別 積 立 金	14,100
		（社会福祉事業積立金）	（160）
		当 期 未 処 分 剰 余 金	409
		会 員 勘 定 合 計	19,700
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 11,134
		土 地 再 評 価 差 額 金	179
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 10,955
		純 資 産 の 部 合 計	8,745
資 産 の 部 合 計	523,037	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	523,037

● 損益計算書

第117期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金	額
経常収益		7,117,547
資金運用収益	6,005,450	
貸出金利息	4,450,957	
預け金利息	362,796	
有価証券利息配当金	1,099,074	
その他の受入利息	92,622	
役務取引等収益	937,466	
受入為替手数料	261,021	
その他の役務収益	676,444	
その他業務収益	61,994	
外国為替売買益	1,911	
金融派生商品収益	257	
その他の業務収益	59,825	
その他経常収益	112,635	
償却債権取立益	112,389	
その他の経常収益	246	
経常費用		6,814,575
資金調達費用	315,415	
預金利息	300,933	
給付補填備金繰入額	420	
借入金利息	2,619	
その他の支払利息	11,441	
役務取引等費用	767,176	
支払為替手数料	59,394	
その他の役務費用	707,782	
その他業務費用	25,454	
国債等債券売却損	21,988	
国債等債券償還損	1,583	
その他の業務費用	1,882	
経費	5,378,758	
人件費	3,536,131	
物件費	1,676,083	
税金	166,543	
その他経常費用	327,771	
貸倒引当金繰入額	195,966	
貸出金償却	55,111	
株式等償却	1,122	
金銭の信託運用損	0	
その他の経常費用	75,570	
経常利益		302,971
特別利益		12,725
固定資産処分益	12,725	
特別損失		123,565
固定資産処分損失	75,671	
減損	45,371	
その他の特別損失	2,522	
税引前当期純利益		192,131
法人税、住民税及び事業税	8,598	
法人税等調整額	508	
法人税等合計		9,106
当期純利益		183,024
繰越金（当期首残高）		219,094
土地再評価差額金取崩額		7,808
当期末処分剰余金		409,927

● 剰余金処分計算書

第117期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	409,927,804
剰 余 金 処 分 額	89,705,056
利 益 準 備 金	50,000,000
普通出資に対する配当金	(年1.5%) 39,705,056
繰越金（当期末残高）	320,222,748

以上のとおりであります。

● 役 員（令和7年3月31日現在）

会 長	村 上 幸 男
理 事 長	池 上 弘
専務理事	岩 見 英 雄
常務理事	原 田 文 之
常務理事	春 田 裕 司
常勤理事	河 原 辰 也
常勤理事	榮 田 昭 徳
常勤理事	中 山 利 幸
理 事	松 尾 正
理 事	米 田 巨 宏
理 事	杉 下 秀 幸
理 事	井 本 浩 二

以上の各項につき監査の結果、正確であることを認めます。

令和7年6月3日

常勤監事	田 中 貴 也
監 事	野 村 雅 之
監 事	阪 田 高 則

なお、和奏監査法人による監査の結果、貸借対照表及び損益計算書については適正、剰余金処分案については法令及び定款に適合と認められております。

トピックス

❖ 「特殊詐欺被害」 防止

■令和6年5月29日（水）

架空料金請求詐欺被害を未然に防止した王司支店へ、長府警察署より感謝状が贈られました。

■令和6年6月4日（火）

うそ電話詐欺被害を未然に防止した川棚支店へ、小串警察署より感謝状が贈られました。



❖ 「やまぐち子ども・子育て応援ファンド」へ寄附金贈呈

■令和6年6月7日（金）

山口県内3信用金庫（当金庫、萩山口信用金庫、東山口信用金庫）は、「やまぐち子ども・子育て応援ファンド」へ寄附金を贈呈いたしました。



❖ 「山口県しんきん合同ビジネスマッチング」共催

■令和6年11月5日（火）～令和6年11月29日（金）

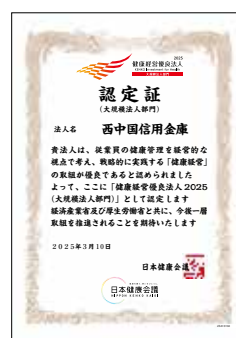
第13回山口県しんきん合同ビジネスマッチング「食のオンライン商談会2024」を共催いたしました。



❖ 「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」認定取得

■令和7年3月10日（月）

経済産業省が日本健康会議と共同で実施している健康経営優良法人認定制度「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に4年連続で認定されました。



地域貢献活動

❖ 津和野支店「津和野町内清掃活動」参加

■令和6年4月13日（土）

津和野支店の職員が、「津和野町内清掃活動」に参加いたしました。



❖ 「第46回ふしの夏まつり」参加

■令和6年7月27日（土）

山口地区の職員が、「第46回ふしの夏まつり」のおごおり総踊りに参加いたしました。



❖ 「第13回西中国信用金庫杯グラウンド・ゴルフ大会」開催

■令和6年9月19日（木）

岩国市横山河川敷運動広場において、「第13回西中国信用金庫杯グラウンド・ゴルフ大会」を開催いたしました。



❖ 「第73回宇部まつり」参加

■令和6年11月3日（日）

宇部地区の職員が、「第73回宇部まつり」の華創パレードに参加いたしました。



店舗のご案内

下関地区

本部	TEL083-223-3461
本店別館	TEL083-228-2130
本店営業部	TEL083-223-4939
本村出張所	TEL083-266-0145
新地支店	TEL083-222-6247
向洋出張所	TEL083-223-1401
唐戸支店	TEL083-222-6145
山の田支店	TEL083-252-3281
福浦支店	TEL083-266-4266
一の宮支店	TEL083-256-1516
川棚支店	TEL083-772-3450
宝町支店	TEL083-254-2121
向井町出張所	TEL083-266-5251
王司支店	TEL083-248-3544
かじくり支店	TEL083-258-5660
川中支店	TEL083-252-4155
熊野支店	TEL083-253-2411
長府中央支店	TEL083-245-0127
小月支店	TEL083-282-1116
長府駅前支店	TEL083-249-3311
菊川支店	TEL083-287-3655

宇部地区

小野田支店	TEL0836-84-7711
床波支店	TEL0836-51-1260
琴芝支店	TEL0836-22-5151
東岐波支店	TEL0836-58-5789
宇部支店	TEL0836-21-6171
東新川支店	TEL0836-31-0781
西宇部支店	TEL0836-41-1000

山口地区

小郡支店	TEL083-973-2260
阿知須支店	TEL0836-65-4121
嘉川出張所	TEL083-989-2505
秋穂支店	TEL083-984-2216
秋芳出張所	TEL083-973-2260
山口支店	TEL083-922-7355
ひめ山支店	TEL083-932-2711

津和野地区

益田支店	TEL0856-23-2811
徳佐出張所	TEL083-956-0201
日原出張所	TEL0856-74-1111
吉賀支店	TEL0856-78-1111
津和野支店	TEL0856-72-1112

岩国地区

岩国支店	TEL0827-41-0141
南岩国支店	TEL0827-31-8135
錦町出張所	TEL0827-41-0141
岩国中央支店	TEL0827-21-1185

インターネット支店 TEL0120-01-2343

店外ATM設置場所

下関地区

- ・下関駅
- ・シーモール
- ・下関市役所
- ・向井町
- ・リブホール迫町店
- ・マーレとようら
- ・サンパル川棚
- ・ゆめマート下関
- ・後田
- ・下関市立市民病院

山口地区

- ・リブホール安岡店
- ・ゆめシティ
- ・パワータウン新下関コスパ
- ・ゆめタウン長府

山口地区

- ・フジ小郡店
- ・秋芳総合支所

岩国地区

- ・錦町
- ・通津

宇部地区

- ・フジグラン宇部
- ・ゆめタウン宇部
- ・フジ西宇部店

令和7年6月

会 員 各 位

西 中 国 信 用 金 庫
理 事 長 池 上 弘

第117回通常総代会の顛末のご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年6月24日開催の当金庫第117回通常総代会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

会議の目的事項

報告事項

- 1 第117期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告について
- 2 第117期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
決算に係る監事監査結果報告について
上記書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

前項の業務報告書に記載の原案どおり承認可決されました。

第2号議案 定款一部変更の件

経営基盤の軽量化を図るべく役員の定数を変更することおよび、経営管理体制の効率化を図るべく総代の定数を変更するため、定款の一部を改正するもの。

原案どおり承認可決されました。

第3号議案 所在不明会員除名の件

定款第15条および別表4第5項の規定に基づき、長期間所在が不明であることを事由とし、会員を除名するもの。

原案どおり承認可決されました。

第4号議案 理事10名選任の件

本案は理事12名任期満了に伴う選任でありまして、原案どおり承認可決され、次のとおり理事10名が選任され就任いたしました。

理事（再任） 池上 弘
理事（再任） 春田 裕司
理事（再任） 河原 辰也
理事（再任） 榮田 昭徳
理事（再任） 中山 利幸
理事（再任） 松尾 正
理事（再任） 米田 亘宏
理事（再任） 杉下 秀幸
理事（再任） 井本 浩二

以上9名重任

理事（新任） 成田 昌人

以上1名新任

また、通常総代会終了後直ちに臨時理事会を開催し、次のとおり選定され就任いたしました。

理事長（代表理事） 池上 弘
常務理事（代表理事） 春田 裕司
以上2名重任
常務理事（代表理事） 成田 昌人
以上1名昇任

第5号議案 退任理事に対する役員退職慰労金贈呈の件

退任理事に対し、その在任中の功労に報いるため、当金庫の定める一定の基準に従い、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈時期および方法については、理事会に一任願うもの。

本案は令和7年6月24日の通常総代会の終結の時をもって退任されました、理事 村上幸男氏、岩見英雄氏、原田文之氏に対しまして、退職慰労金を贈呈するものでありまして、原案どおり承認可決されました。

以 上